2019年度　北海商科大学開講科目一覧表

年次・セメ / 科目区分	科目区分ごとの概要・特徴	1年次 1セメ	1年次 2セメ	2年次 3セメ	2年次 4セメ	3年次 5セメ	3年次 6セメ	4年次 7セメ	4年次 8セメ
異文化交流科目	語学（選択必修）	英会話Ⅰ ●● 9	英会話Ⅱ（2016年度以前入学者） ● 9	英会話・作文Ⅰ 6	英会話・作文Ⅱ 4	語学			
			英会話Ⅲ（2017年度以降入学者） 6			2017(平成29)年度以降入学者　→９単位以上必須　※●印選択必修			
		中国語Ⅰ 9	中国語Ⅱ ● 9	中国語会話・作文Ⅰ 6	中国語会話・作文Ⅱ 4	2016(平成28)年度以前入学者　→18単位以上必須　※●印選択必修			
		留学中国語 ●● 12	海外中国語 15						
		韓国語Ⅰ 9	韓国語Ⅱ ● 9	韓国語会話・作文Ⅰ 6	韓国語会話・作文Ⅱ 4				
		留学韓国語 ●● 12	海外韓国語 15						
	社会と文化	外国語科目と並行して、グローバル化する国際社会と多様な文化を理解するための講義として開講する。							
		論理と思考A 3	論理と思考B 3						
		近代社会と倫理学A 3	近代社会と倫理学B 3						
		哲学と社会思想A 3	哲学と社会思想B 3						
		市民社会と自由A 3	市民社会と自由B 3						
		日本近代とアジアA 3	日本近代とアジアB 3						
		東アジアの動きA 3	東アジアの動きB 3						
		日本文化と東アジアA 3	日本文化と東アジアB 3						
		日本文学と日本語A 3	日本文学と日本語B 3						
		国際経済の動きA 3	国際経済の動きB 3						
		言語の科学A 2	言語の科学B 2						
		国際社会と異文化交流A 2	国際社会と異文化交流B 2						
		異文化と言語A 2	異文化と言語B 2						
		国際社会と安全保障A 2	国際社会と安全保障B 2						
					スポーツの科学（＊） 2				
		中国社会文化特講 1	社会と経済（中国） 2						
		韓国社会文化特講 1	社会と経済（韓国） 2						
		キャリアリテラシー 3							
		地域比較開発論 3							
		都市比較デザインの現状 3							
		現代社会と情報ネットワークA 3	現代社会と情報ネットワークB 3						
		文化心理学A 3	文化心理学B 3						
		IT&メディアA 2	IT&メディアB 2						
		東アジア比較開発A 2	東アジア比較開発B 2						
		異文化コミュニケーションA 1	異文化コミュニケーションC 1	異文化コミュニケーションE 1	異文化コミュニケーションG 1				
		異文化コミュニケーションB 1	異文化コミュニケーションD 1	異文化コミュニケーションF 1	異文化コミュニケーションH 1				
		社会文化ゼミナール 2	異文化ゼミナール 2						
専門基礎科目	必修科目	専門科目を修得する上での基礎知識や、情報処理の理論と実務を修得する。		経済と社会の仕組みⅠ 3	経済と社会の仕組みⅡ 2				
		専門基礎科目　●15単位以上必須		経済システム理論Ⅰ 3	経済システム理論Ⅱ 2				
				コンピュータ・リテラシーⅠ 3	コンピュータ・リテラシーⅡ 2				
専門展開科目		商学科・観光産業学科の専門科目に関連した講義。 自分のキャリア形成に向けた専門科目とうまく連動させて、履修することが可能。		日本経済論A 2	日本経済論B 2		アジア比較文化論 2	■グローバルな視点から北海道経済や日本経済を見つめなおし、さらにアジアや世界の動向のうちに自己の立場を確認したい場合。	
				現代中国経済論 2			アメリカ比較文化論 2		
				現代中国論A 2	現代中国論B 2		北海道経済論 2		
				現代韓国経済論 2					
				現代アメリカ政治A 2	現代アメリカ政治B 2				
				比較企業形態論 2					
				比較経済論A 2			比較経済論B 2		
				東アジア政治思想A 2	東アジア政治思想B 2				
				国際関係論（＊） 2			社会心理学 2		
				環境科学論 2	環境経済論 2		公共経済論 2	■より専門性を深めることを目的としたい場合。	
				労働経済論 2					
				地域交通体系論 2					
				都市計画論 2					
				情報社会と統計（＊） 2					
				社会調査方法論A 2	社会調査方法論B 2		地域コミュニティ論 2		
						経済理論A 3	経済理論B 2	■幅広い経済理論を深めたい場合。	
						応用経済A 3	応用経済B 2		
					民法基礎 2			■キャリアアップに関連した法的知識を習得しようとする場合。	
						経済法 2			
						労働法 2			
							商法基礎 2		
						法社会の基礎(日本国憲法を含む)（＊） 2			
		特殊講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 1～8							
		特別ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 1～8							
専門科目	商学科	商学科専門科目は、コマース研究ゼミナールを中心に、次の３つの群から構成されている。 【A群：商学基礎科目】 商学科の専門諸科目を履修する際に求められる基礎知識を獲得する科目群。 【B群：商学発展科目】 企業から消費に至るまでの商品やサービスの経済的流通の仕組みについて理解を深める科目群。 【C群：商学応用科目】 これまで学んだ現代ビジネスの理論や技術などを実際のケースに当てはめて学ぶ科目群。 ⇩ 流動的な現代ビジネスに関する幅広い専門的知識や技能を系統的、学際的に履修することができる。				(A)マーケティングⅠ 3	(B)マーケティングⅡ 3			
					(A)企業経営論Ⅰ 3	(B)企業経営論Ⅱ 3			
					(A)金融システム論Ⅰ 3	(B)金融システム論Ⅱ 3			
					(A)アカウンティングⅠ 2	(B)アカウンティングⅡ 2			
					(A)人的資源管理論Ⅰ 3	(B)人的資源管理論Ⅱ 3			
					(A)国際経営論Ⅰ 3	(B)国際経営論Ⅱ 3			
					(A)物流システム論Ⅰ 3	(B)物流システム論Ⅱ 3			
					(A)管理会計論Ⅰ 3	(B)管理会計論Ⅱ 3			
					(A)経営分析論Ⅰ 3	(B)経営分析論Ⅱ 3			
					(A)流通戦略論Ⅰ 3	(B)流通戦略論Ⅱ 3			
						(C)流通論 2			
						e原価計算論 2			
							(C)広告論 2		
							(C)国際金融論 2		
							(C)アントレプレナーシップ論 2		
							(C)国際ビジネスコミュニケーション 2		
							(C)国際経営戦略論 2		
							(C)中小企業経営論 2		
							(C)企業経営戦略論 2		
							e財務諸表論 2		
					(D)コマース研究ゼミナールⅠ 2	(D)コマース研究ゼミナールⅡ 2	(D)コマース研究ゼミナールⅢ 2	(D)コマース研究ゼミナールⅣ 2	(D)卒業論文 2
	観光産業学科	観光産業学科では、次にあげる3つの科目群を積み上げ式で構成されている。 【A群：観光基礎科目】 観光産業学科の専門諸科目を履修する際に求められる必須知識を獲得する科目群。 【B群：観光発展科目】 持続可能な21世紀型観光の展開と不可分な領域「環境」との関係性についても理解と考察を深める科目群。 【C群：観光応用科目】 観光産業の諸ビジネスの展開に際して求められる実用的知識について学ぶ科目群 ⇩ これらのカリキュラムを通じ、「観光と環境」を発展のテーマとする観光産業学に関する幅広い専門的知識や技能を系統的に履修することができる。				(A)観光学Ⅰ 3	(B)観光学Ⅱ 3			
					(A)観光事業論Ⅰ 3	(B)観光事業論Ⅱ 3			
					(A)観光地理論Ⅰ 3	(B)観光地理論Ⅱ 3			
					(A)観光政策論Ⅰ 3	(B)観光政策論Ⅱ 3			
					(A)観光産業論Ⅰ 3	(B)観光産業論Ⅱ 3			
					(A)観光振興論Ⅰ 3	(B)観光振興論Ⅱ 3			
					(A)観光情報学Ⅰ 3	(B)観光情報学Ⅱ 3			
					(C)観光文化論 2	(C)観光関連法規 2			
						(C)旅行業実務 2	(C)観光形態論 2		
							(C)観光資源論 2		
							(C)観光調査論 2		
							(C)地域観光論 2		
							(C)旅行企画論 2		
							(C)観光ビジネス論 2		
							(C)ツーリズム研究 2		
					(D)観光研究ゼミナールⅠ 2	(D)観光研究ゼミナールⅡ 2	(D)観光研究ゼミナールⅢ 2	(D)観光研究ゼミナールⅣ 2	(D)卒業論文 2
								専門科目（ゼミナール科目） ●4単位以上必須 ※但し、Ⅳと卒業論文は除く。	
専門キャリアアップ科目（APC科目）		専門科目と並行して卒業後に目的とする職業に就くための資格等を取得して、自らのキャリアアップを図るための科目群。							
		国家公務員や地方公務員を目指す		社会行政論Ⅰ 2	社会行政論Ⅱ 2	社会行政論Ⅱ 2	社会行政論Ⅳ 2		
							社会行政論Ⅴ 2		
		MOS資格の取得を目指す				情報管理論Ⅰ 2	情報管理論Ⅱ 2	情報管理論Ⅲ 2	
		旅行業への就職と資格の取得を目指す				旅行業務論Ⅰ 2	旅行業務論Ⅲ 2	旅行業務論Ⅳ 2	
						旅行業務論Ⅱ 2			
		税理士・公認会計士等を目標にして、資格の取得を目指す			税務会計論Ⅰ 2	税務会計論Ⅱ 2	税務会計論Ⅲ 2		
		貿易実務検定取得および通関士の資格取得を目指す				通商実務論Ⅰ 2	通商実務論Ⅲ 2	通商実務論Ⅳ 2	
						通商実務論Ⅱ 2			
		TOEIC高得点を目指す				PAL（TOEIC英語）Ⅰ 2	PAL（TOEIC英語）Ⅱ 2	PAL（TOEIC英語）Ⅲ 2	PAL（TOEIC英語）Ⅳ 2
		HSK上級レベルの獲得を目指す				PAL（専門職中国語）Ⅰ 2	PAL（専門職中国語）Ⅱ 2	PAL（専門職中国語）Ⅲ 2	PAL（専門職中国語）Ⅳ 2
		TOPIK上級レベルの獲得を目指す				PAL（専門職韓国語）Ⅰ 2	PAL（専門職韓国語）Ⅱ 2	PAL（専門職韓国語）Ⅲ 2	PAL（専門職韓国語）Ⅳ 2
							インターンシップⅠ 2	インターンシップⅡ 2	
							職業指導Ⅱ 2		
				職業指導Ⅰ 2		商業科教育法Ⅰ 2	商業科教育法Ⅱ 2		
						公民科教育法Ⅰ 2	公民科教育法Ⅱ 2		
教職に関する科目		公立学校教員（教育公務員）または、私立学校教員になるために必要な教員免許状が取得できる教職課程。 【取得できる免許状】 ・高等学校教諭一種免許状（公民科） ・高等学校教諭一種免許状（商業科） ※詳しくは、ハンドブック「教職課程について」を参照すること。 ※教職に関する科目以外で、「＊印」の付いた科目は、教職課程の受講に必要な科目となる。							
			教師論 2						
		教育職員免許状の取得を目指す		教育原理 2					
				教育心理学 2					
				特別活動論 2					
				生徒・進路指導論 2					
					教育経営論 2				
					教育課程論 2				
						教育相談論 2			
						特別支援教育 1			
						総合的な学習の時間の指導法 1			
							教育方法論 2		
							教育実習Ⅰ 1	教育実習Ⅱ 2	教育実習Ⅲ 1
									教職総合演習（実） 2

※　文字色が灰色の科目は、今年度休講。